

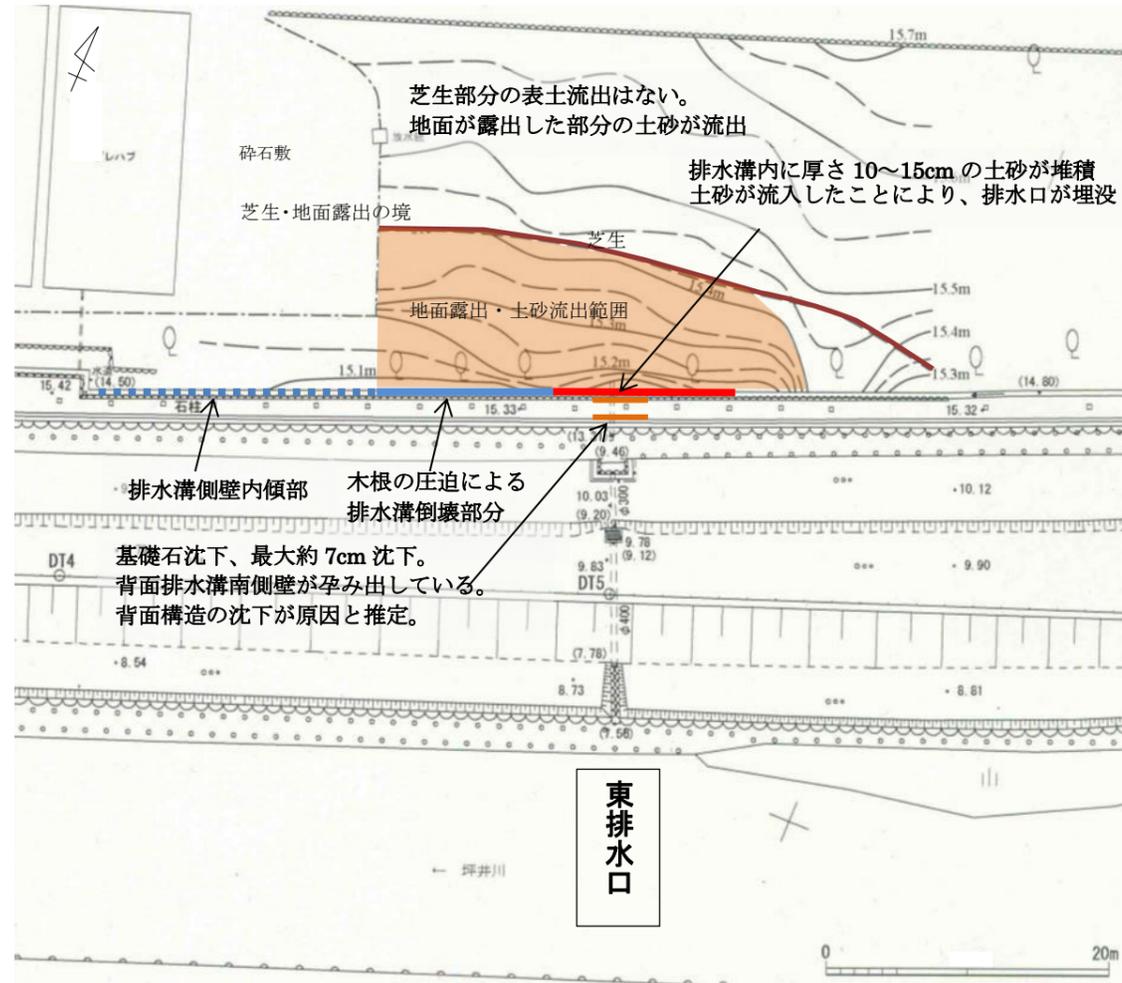
# 長塀北側排水溝付近の沈下部分に対する復旧の考え方について



地面露出状況（西から）



排水溝の状況（土砂除去後）（東から）



基礎石沈下状況（北から）



基礎石沈下状況と側溝南側壁変状状況（東から）



基礎石沈下部分の石垣変状状況（南から）

**1. 竹の丸南側における現地表面の沈下について**  
 <現状と原因>  
 現地表面が低く見える部分と対応して、排水溝内に大量の土砂が堆積している状況を確認した。表土の流出と考えられ、流出部分は樹木の繁茂で芝生が消失し表土が露出している。  
 排水溝北側壁が排水溝内側に向けてやや倒れている状況を確認した。樹木が繁茂する部分と対応しており、木根の圧力によるものと捉えられる。  
 <対応と対策>  
 倒れた排水溝壁については、排水溝に影響のある樹木の根を除去した後、排水溝壁や水漏れ防止等の修繕を行う。また、埋没した排水口は土砂を除去し、機能回復を図る。  
 また、表土の流出については、排水機能の改善後、経過観察を行い、状況に応じ地表面の養生を行うなど土砂流出の防止を検討する。

**2. 基礎石の沈下と石垣の変状について**  
 <現状と原因>  
 基礎石が最大で約 7cm 沈下した状況を確認した。また、基礎石下部の石垣が上から 3 段にわたり、竹の丸側へ傾いており、これに近接する側溝南側壁が孕み出していることを確認した。  
 地震前に長塀には毀損が見られなかったことから、地震によって石垣背面構造が変化し、基礎石の沈下が起きた可能性がある。  
 <対応と対策>  
 石垣背面構造の状況確認を、控え柱補強工事及び側溝修繕工事に先立つ確認調査の際に合わせて行う。長塀基礎石および石垣の背面構造の沈下は、この部分に限定されるので、経過観察を行うことに留めたい。